

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	・基本的には翌日に申し送りの時間を取っている。緊急の場合には臨時的なミーティングを行い、伝達ノートを活用しながら共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		・その日の利用者一人ひとりの記録をし、注意事項（トラブル、発作、怪我など）を記入する。その上で指導内容や方法を検討している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		・モニタリング期間に合わせて、計画書を見直している。また日々のスタッフの気付きを大切に、臨機応変に支援の対応をしています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6		・自立支援、創作活動、地域交流、余暇などの支援を集団、個別それぞれで行っています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		・管理者、児童発達支援管理責任者が会議に参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6		・各学校のホームページや配布物の確認をし、変更がある場合には連絡帳やメール、電話を頂いている。 ・また迎えの引き渡しの際に学校の先生方と情報交換をしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1		5	・現時点での該当者はいないが、関連ツールや連絡先を管理者が把握している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6			・事前に担当者会議で情報交換を行っている。開催が難しい場合には書面を頂いている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		1	5	・今年度、教室では初の高等学校卒業者がいるので、進路が決まり次第、情報共有ができればと思う。
関係機関や保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			・研修に参加し、助言を頂いている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5		・地域の公園に外出した時など、顔を合わせる機会はあるものの、交流とまではいたっていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2	2	・最近ではあまり参加できていない。出来る限り参加していきたい。
	28	口頭でのやり取りだけでなく、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			・連絡帳を通じた書面でのやり取りに加え、送迎時にも口頭で日々の利用の様子を伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1		・モニタリングや電話相談を含め、保護者との面談は行っているが、ペアレントトレーニングまでは実施できていないため、研修などに参加し、支援に繋げていきたい。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			・見学時に支援内容の説明をし、契約時に、重要事項と契約書を用いて丁寧に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			・送迎時や連絡帳を通して、家庭での様子や気になることを伺っている。また、電話での相談も、管理者が窓口になり対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			6	・現在は開催できていない。イベント等を通じて関わりを持って頂き、交流に繋げていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			・苦情対応マニュアルを作成しており、契約時には苦情相談窓口の案内を行っている。苦情があった場合には迅速かつ適切な対応を心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			・毎月お便りを作成し、イベントと月間の予定の案内をしている。連絡帳には写真を貼り、様子が分かりやすいようにしている。
	35	個人情報に十分注意している	6			・個人情報の資料に関しては鍵付きの書庫に保管し、破棄する時はシュレッダーにかけている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			・個別に合ったコミュニケーション方法を実践している。保護者に対しては直接確認が必要な時は、訪問や電話連絡をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		2	・イベント等に地域住民を招待した事はないが、近所の高齢者施設に訪問し、交流を図っている。利用児童が通う学校の先生の見学などはある。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1		・マニュアルを作成し、事業所内に閲覧できるように配置している。保護者への周知は今後行っていく予定。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			・年2回の避難訓練を実施している。また防災施設での体験を通して訓練を行っている。防災グッズの見直しや確認を今後も定期的に行う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			・外部研修を受講し、情報共有、防止に努めている。また今後、全体周知とスタッフのストレスチェックを行ってきたい。
	41	このような場合に子どもをどう身柄拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1		・身体拘束の同意書は準備している。該当する児童がいた場合は支援会議の場で確認の上、計画書へ記載するようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			・契約時にアレルギーの有無を確認している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			・ヒヤリハットが挙がった時に対策の検討を行い、報告書を作成し、情報を共有した上でファイリングをしている。	